



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 あかつきフィナンシャルグループ株式会社
コード番号 8737 URL <http://www.akatsuki-fg.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島根 秀明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 川中 雅浩

TEL 03-6821-0606

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,758	6.6	4,197	1.4	819	△19.9	956	△33.6	1,137	△11.3
26年3月期第3四半期	4,462	90.1	4,140	89.5	1,022	766.1	1,439	110.0	1,282	98.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,202百万円 (△1.9%) 26年3月期第3四半期 1,225百万円 (92.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	80.60	73.32
26年3月期第3四半期	107.90	82.31

当社は平成26年3月11日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	26,782	10,128	32.6	604.79
26年3月期	25,824	9,181	30.5	559.35

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 8,740百万円 26年3月期 7,875百万円

当社は、平成26年3月11日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	—
27年3月期	—	7.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・上記「配当の状況」の平成26年3月期期末配当金の内訳は、普通配当10円00銭、特別配当5円00銭となります。

・平成26年3月期期末の配当金は平成26年3月11日に普通株式1株を2株とする株式分割の効力の発生を反映しております。なお、平成26年3月期第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の実際の金額を記載しております。

・平成27年3月期の配当予想は、現時点で未定となっております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

当社グループは、投資金融サービス業を営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	15,409,648 株	26年3月期	14,523,160 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	958,360 株	26年3月期	442,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	14,208,454 株	26年3月期3Q	11,881,716 株

・当社は平成26年3月11日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を算定しております。
・期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、ESOP信託口及びBBT信託口が所有している当社株式を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)において、期首に14,870円で始まった日経平均株価は、消費税率の引き上げやウクライナ情勢の緊迫化等を要因として、一時14,000円を割り込む場面がありました。その後、円安の進行や米国株式市場の上昇の影響を受け、日本銀行による追加金融緩和の決定を契機に、株価は大きく上昇し、12月末に17,450円77銭で取引を終了しております。

このような市場環境の中で、当社は、グループ全体としての経営基盤の拡充を図るべく、証券関連サービス事業におけるリテール営業、税務コンサルティングサービス等の強化に加え、事業領域拡大を目的とした不動産関連サービス事業及び金融情報サービス事業の伸張に取り組んでまいりました。不動産関連サービス事業につきましては、7月よりグループ会社となりましたEWアセットマネジメント(株)を通じ、第2四半期より出資を行っております開発投資型の高齢者向け住宅特化型不動産ファンドが対象とする投資物件の選定が進展し、今後の収益獲得への足場を固める時機となりました。

当社グループの中核会社であり証券関連サービス事業を牽引するあかつき証券(株)におきましては、顧客基盤の拡大と収益力の強化を図るべく取り組みを行ってまいりました。顧客基盤の拡大につきましては、新規口座・NISA口座の開設に向けた様々な施策を実施すると共に、マーケット環境・投資家ニーズに応じた各種セミナーを積極的に開催いたしました。また、収益力の強化に向けては、新たな商品ラインナップといたしまして、オーダーメイド仕様の私募債の取り扱いを開始、合わせて8月より取り扱いを始めております為替証拠金取引(FX)及び株価指数証拠金取引(CFD)や投信積立サービス等へも引き続き注力し、幅広い顧客層に向けた多様なニーズに対応する商品チャネルの拡充を図ることにより、盤石な体制づくりに奮励してまいりました。

ウェルス・マネジメントグループ(旧ドリーム・バイザー・ホールディングス)におきましては、あかつきフィナンシャルグループの不動産関連サービス事業の一翼を担うリシエス・マネジメント(株)(旧ウェルス・マネジメント(株))が匿名組合出資しておりますホテルファンドから、マスターリースを受けたホテルを賃貸したことに伴う賃料収入が、第2四半期に引き続き好調に推移しております。一方、金融情報サービス事業においては、10月に(株)日本証券新聞社から分割いたしました(株)日本証券新聞リサーチでの、IR講演会の受託開催数の増加やそれに伴う企業広告案件の伸びが貢献いたしました。また、(株)日本証券新聞社における個人向け新聞等の販売収入が伸び悩みを見せる状況となっております。

これらの取り組みにより、当社の連結子会社であるあかつき証券(株)の当第3四半期連結累計期間の業績は、受入手数料2,022百万円(前年同四半期比23.7%減)、トレーディング損益1,595百万円(同38.8%増)、営業利益976百万円(同27.7%減)、経常利益958百万円(同31.4%減)、四半期純利益606百万円(同46.2%減)となりました。

また、ウェルス・マネジメントグループの業績は売上高919百万円(前年同四半期比83.7%増)、営業損失0百万円(前年同四半期は101百万円の損失)、経常損失18百万円(前年同四半期は108百万円の損失)四半期純損失36百万円(前年同四半期は110百万円の損失)となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の営業収益は4,758百万円(前年同四半期比6.6%増)、営業利益819百万円(同19.9%減)、経常利益956百万円(同33.6%減)、四半期純利益1,137百万円(同11.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ957百万円増加し26,782百万円となりました。これは主に、現金・預金が2,383百万円増加した一方、信用取引資産が1,896百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ10百万円増加し16,653百万円となりました。これは主に、預り金が1,891百万円、短期社債が1,447百万円増加した一方、信用取引負債が2,931百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ947百万円増加し、10,128百万円となりました。これは主に、利益剰余金が806百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、投資金融サービスを営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控させていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第2四半期連結会計期間より、株式を取得したことに伴い、NSホールディングス(株)、EWアセットマネジメント(株)及び合同会社さつきを、新設分割したことにより(株)マイトランクを連結の範囲に含めております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結累計期間において、キャピタル・ソリューション(株)（旧あかつきキャピタルマネージメント）は、保有株式の売却により持分比率が低下したため、連結の範囲から除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	3,830,854	6,214,180
預託金	4,577,000	5,378,000
預け金	320,783	221,392
トレーディング商品	939,300	1,722,589
信用取引資産	9,183,433	7,286,534
信用取引貸付金	9,155,301	7,189,410
信用取引借証券担保金	28,132	97,123
差入保証金	640,560	281,789
短期貸付金	335,391	134,120
その他	839,634	672,374
貸倒引当金	△68,863	△56,699
流動資産計	20,598,095	21,854,281
固定資産		
有形固定資産	516,190	489,131
無形固定資産		
のれん	379,366	489,912
その他	143,231	144,641
無形固定資産合計	522,597	634,553
投資その他の資産		
投資有価証券	3,475,907	3,330,549
長期貸付金	231,401	17,514
その他	768,602	774,903
貸倒引当金	△307,846	△330,802
投資その他の資産合計	4,168,066	3,792,165
固定資産計	5,206,854	4,915,849
繰延資産	19,940	12,146
資産合計	25,824,890	26,782,277
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	116,109	120,457
賞与引当金	75,253	48,474
信用取引負債	5,648,629	2,717,522
信用取引借入金	5,564,767	2,474,406
信用取引貸証券受入金	83,862	243,115
預り金	3,874,042	5,765,422
受入保証金	807,503	605,780
短期社債	3,503,000	4,950,000
短期借入金	600,000	-
その他	1,143,252	1,655,852
流動負債計	15,767,790	15,863,510
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	200,000	200,000
退職給付に係る負債	192,060	204,005
負ののれん	135,831	33,957
その他	310,677	314,940
固定負債計	838,569	752,903

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	37,288	37,288
特別法上の準備金計	37,288	37,288
負債合計	16,643,649	16,653,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,238,578	3,409,227
資本剰余金	1,732,639	1,865,699
利益剰余金	3,267,839	4,074,780
自己株式	△354,679	△625,174
株主資本合計	7,884,378	8,724,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,947	9,759
為替換算調整勘定	3,737	12,765
退職給付に係る調整累計額	△7,297	△7,009
その他の包括利益累計額合計	△8,508	15,515
新株予約権	3,989	3,989
少数株主持分	1,301,381	1,384,537
純資産合計	9,181,241	10,128,575
負債・純資産合計	25,824,890	26,782,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業収益		
受入手数料	2,575,970	1,979,470
トレーディング損益	1,181,573	1,678,950
金融収益	126,200	101,286
その他	578,769	999,164
営業収益計	4,462,512	4,758,872
金融費用	47,625	24,907
売上原価	273,940	536,271
純営業収益	4,140,946	4,197,693
販売費及び一般管理費		
取引関係費	23,731	19,520
人件費	1,738,747	1,781,988
不動産関係費	238,026	227,351
事務費	257,294	336,144
減価償却費	56,163	70,333
租税公課	38,250	40,002
貸倒引当金繰入額	26,025	—
その他	739,723	903,270
販売費及び一般管理費合計	3,117,962	3,378,611
営業利益	1,022,983	819,081
営業外収益		
負ののれん償却額	409,679	101,873
持分法による投資利益	—	94,613
その他	86,313	63,604
営業外収益合計	495,993	260,092
営業外費用		
支払利息	29,006	70,002
社債発行費	25,974	16,423
持分法による投資損失	7,240	—
その他	17,076	36,297
営業外費用合計	79,297	122,723
経常利益	1,439,678	956,451
特別利益		
持分変動利益	90,017	—
投資有価証券売却益	—	261,500
その他	—	27,403
特別利益合計	90,017	288,903
特別損失		
システム移行費用	130,000	—
訴訟損失引当金繰入額	840	17,773
訴訟和解金	8,500	12,706
その他	36,693	4,293
特別損失合計	176,033	34,774

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
税金等調整前四半期純利益	1,353,662	1,210,580
法人税、住民税及び事業税	133,029	201,235
法人税等調整額	—	△168,807
法人税等合計	133,029	32,428
少数株主損益調整前四半期純利益	1,220,633	1,178,152
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△61,382	40,593
四半期純利益	1,282,015	1,137,558

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,220,633	1,178,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,057	10,932
持分法適用会社に対する持分相当額	17,911	13,091
その他の包括利益合計	4,854	24,024
四半期包括利益	1,225,487	1,202,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,286,869	1,161,583
少数株主に係る四半期包括利益	△61,382	40,593

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	証券業	金融サービス関 連事業				
営業収益						
外部顧客に対する営業収益	3,851,639	484,044	126,828	4,462,512	—	4,462,512
セグメント間の内部営業収益又は振替高	74,325	16,508	—	90,833	△90,833	—
計	3,925,964	500,552	126,828	4,553,345	△90,833	4,462,512
セグメント利益又は損失(△)	1,350,549	△102,408	26,002	1,274,143	△251,160	1,022,983

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人及び企業を対象としたマイトランク事業、投資運用業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△251,160千円には、セグメント間取引消去△1,039,364千円、全社収益1,058,726千円、全社費用△266,625千円及びのれん償却額△3,896千円が含まれております。なお、全社収益は主にグループ会社からの経営指導料及び受取配当金であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	証券業	金融サービス関 連事業				
営業収益						
外部顧客に対する営業収益	3,671,209	900,589	187,073	4,758,872	-	4,758,872
セグメント間の内部営業収益又は振替高	43,152	18,790	33,150	95,093	△95,093	-
計	3,714,361	919,380	220,224	4,853,966	△95,093	4,758,872
セグメント利益又は損失(△)	976,096	△112	64,978	1,040,963	△221,881	819,081

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人及び企業を対象としたマイトランク事業、投資運用業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△221,881千円には、セグメント間取引消去△822,722千円、全社収益897,813千円、全社費用△291,367千円及びのれん償却額△5,604千円が含まれております。
なお、全社収益は主にグループ会社からの経営指導料及び受取配当金であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。